

増山 幹高 教授

役職：副学長、研究科長、修士課程委員会委員長、公共政策プログラムディレクター、Young Leaders Program ディレクター代理（政治・行政担当）、政策プロフェッショナルプログラム副ディレクター、アドミッションズ・同窓会室長、スチューデントオフィス室長

専門分野：日本政治、議会制度、計量分析

学位：Ph.D.（政治学）ミシガン大学（2001年）

略歴：1999年 成蹊大学法学部専任講師
2000年 成蹊大学法学部助教授
2004年 成蹊大学法学部教授
2005年 慶應義塾大学法学部教授
2009年 政策研究大学院大学教授
2011年 政策研究大学院大学学長補佐
2013年 政策研究大学院大学学長特別補佐
2014年 政策研究大学院大学副学長、研究科長

1. 業績（A）

（1） 図書（単著）

* 増山幹高『立法と権力分立』全229頁（東京大学出版会、2015年9月）

（2） 雑誌論文（共著）

* Sadafumi Kawato and Mikitaka Masuyama, “Does the divided diet make a difference?” *University of Tokyo Journal of Law and Politics*. Vol. 12, Summer 2015, pp. 22-39, The Graduate Schools for Law and Politics, The University of Tokyo

* 増山幹高・竹田香織「いかに見たい国会審議映像に到達するか？—国会審議映像検索システムの概要—」『レヴァエアサン』56号、2015年4月、54-79頁、木鐸社

（3） 学会発表

* 増山幹高、日本公共選択学会「立法と政党」明海大学、2015年11月21-22日

2. 業績（B）

（1） 書評・解説等

* 増山幹高「見たくなる国会審議映像へ」『αシノドス』vol. 192、2016年3月、20-39頁

（2） その他

* 科学研究費補助金（基盤研究S）によって開発・運用・公開しているサイト：

<http://www3.grips.ac.jp/~clip/>

<http://gclip1.grips.ac.jp/video/>

<http://gclip1.grips.ac.jp/disclosure/>

3. 助成金等による研究

* 平成27年度科学研究費補助金（基盤研究S）「政策情報のユニバーサル化・国際化に関する実証と実践」研究代表者（2015年度～2019年度）

4. 教 育

(1) 講 義

- * Government and Politics in Japan (秋学期)
- * 社会科学方法論=量的分析 (秋学期)
- * 比較議会制度論 (秋学期)

(2) 演 習

- * Independent Study

(3) 論文指導

- * Young Leaders Program : 修士課程 8 名 (主指導 : うち 3 名学位取得)
- * One-year Master's Program of Public Policy (MP1) : 修士課程 2 名 (主指導)
- * 公共政策プログラム : 修士課程 4 名 (主指導 : うち 3 名学位取得)
- * 政策プロフェッショナルプログラム : 博士課程 3 名 (副指導)
- * 公共政策プログラム : 博士課程 1 名 (主指導)

(4) 研修事業

- * ベトナム共産党幹部職員研修
- * タイ公共管理及びリーダーシップ開発研修プログラム (PMLTP)
- * フィリピン・バンサモロ詳細法策定研修

5. 管理・運営への関与

(1) 委員会

- * 研究教育評議会
- * 役員会
- * 経営協議会
- * 学長選考会議
- * 企画懇談会
- * 修士課程委員会
- * 博士課程委員会
- * 奨学金等委員会
- * 教員人事委員会
- * 教員業績評価委員会
- * プログラム改革推進本部
- * 政策研究センター運営調査会
- * グローバルリーダー育成センター運営委員会
- * リーディング大学院運営委員会
- * 国際交流会館等運営委員会
- * プログラム推進費予算配分検討委員会
- * 仕様策定委員会
- * プロフェッショナル・コミュニケーションセンター運営委員会
- * 第3期中期目標・計画検討ワーキンググループ
- * プログラム外部評価委員会
- * 国際交渉力のある人材育成プロジェクト「外交アカデミー」

- * Young Leaders Program Committee
- * 公共政策プログラム・コミティー
- * GRIPS Global Governance Program (G-cube) Committee
- * 政策プロフェッショナルプログラム・コミティー
- (2) タスクフォース
 - * IAC タスクフォース
 - 国内プログラム改革関係
 - コンソーシアム発展関係
 - Center for Professional Communication (CPC) 設立関係
 - * 評価タスクフォース
- (3) その他
 - * 副学長
 - * 研究科長
 - * 修士課程委員会委員長
 - * 奨学金等委員会委員長
 - * 公共政策プログラムディレクター
 - * Young Leaders Program ディレクター代理（政治・行政担当）
 - * 政策プロフェッショナルプログラム副ディレクター
 - * 教員業績評価委員会委員長
 - * 国際交流会館等運営委員会委員長
 - * プログラム推進費予算検討委員会委員長
 - * 仕様策定委員会委員長

6. 社会的貢献（A）

- (1) 他大学・研究所等における活動
 - ① 非常勤講師
 - * 慶應義塾大学法学部客員教授
 - 法学部：立法過程論Ⅰ（春学期 15 回），現代日本政治論Ⅰ（秋学期 15 回），日本政治論特殊研究Ⅰ（秋学期 15 回）
 - 法学研究科：日本政治論特殊研究（春学期 15 回），日本政治論特殊研究（秋学期 15 回）
 - 健康マネジメント研究科：医療政治学（秋学期 2 回）
 - ② 委員会等
 - * 京都大学公共政策大学院外部評価委員会委員
- (2) 学会等における活動
 - * 日本公共政策学会理事・企画委員会委員長
 - * 日本比較政治学会監事
- (3) その他
 - * 「レヴァイアサン」編集委員
 - * 新しい日本をつくる国民会議（21 世紀臨調）運営委員

7. 社会的貢献（B）

（1） ジャーナリズムを通じた発言

① 活字メディア

- * 「首相、保守色一段と」日本経済新聞（2015年4月13日）
- * “Japan approves draft bills to enable military activities overseas” Channel NewsAsia（2015年5月14日）
- * “Japan prepares to lower voting age” Financial Times（2015年5月31日）
- * “Concerns in Japan over press freedom clampdown” Channel NewsAsia（2015年7月3日）
- * “Japan should stop apologizing over war: poll” AFP（2015年8月19日）
- * “Japan’s Abe sees fierce backlash after security legislation” AFP（2015年9月20日）
- * 「橋下新党、識者の見方」日本経済新聞（2015年10月2日）
- * 「5野党、召集要求へ 憲法「4分の1」規定で」日本経済新聞（2015年10月17日）
- * 「強引でも改革進めて」「パフォーマンス先行」、大阪維新圧勝、有権者は、高い期待、問われる手腕」日本経済新聞（2015年11月23日）
- * 「衆院定数は正こう見る」日本経済新聞（2016年1月15日）